

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	社会医療法人 弘道会 (仮称)門真	階数	地上8F
建設地	大阪府門真市	構造	RC造
用途地域	第2種住居地域、近隣商業地域、準	平均居住人員	140 人
地域区分	6地域	年間使用時間	8,760 時間/年(想定値)
建物用途	病院	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2021年2月 予定	評価の実施日	2019年10月3日
敷地面積	3,616 m ²	作成者	小林健司
建築面積	1,706 m ²	確認日	
延床面積	7,916 m ²	確認者	



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 0.9 ★★★★★

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★★★★★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算

①参照値 ②建築物の取組み ③上記+②以外の ④上記+

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q 環境品質 Qのスコア = 2.3

Q1 室内環境

Q1のスコア = 2.7

Q2 サービス性能

Q2のスコア = 2.7

Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 1.3

LR 環境負荷低減性 LRのスコア = 3.5

LR1 エネルギー

LR1のスコア = 4.4

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 2.7

LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.2

3 設計上の配慮事項		
総合	2018年に制度が開始された介護医療院の新築計画である。利用者にとって快適性・利便性の高い建物となることを目指した。快適性については、低い階高ながら住宅スケールの天井高を確保し、入院者の利用する療養室や共同生活室の自然採光を確保した。利便性については利用者・職員の駐車場・駐輪場の確保、バリアフリー、動線のわかりやすさに配慮した。	
その他	特になし	
Q1 室内環境	Q2 サービス性能	Q3 室外環境(敷地内)
国道と高速道路に近接していることから、騒音測定を行った上で適切な外部建具を採用するとともに、道路側に面する吸排気設備は最低限とし、騒音に配慮した。建物は全面禁煙とした。	ショートステイの居室及び介護医療院の療養室は全て個室とし、10m以上を確保することで、快適な療養環境としている。	高温排熱の放出部を設置しない。
LR1 エネルギー	LR2 資源・マテリアル	LR3 敷地外環境
適切な断熱により熱負荷を抑制している。	特に無し。	燃焼機器を使用しない。駐輪場・駐車場を適切な台数分設けている。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質), L: Load (建築物の環境負荷), LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性), BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される

大阪府建築物環境配慮評価システム2018年版 大阪府の重点評価(結果)

受付番号

H31-0099

Osakafu-新築・既存 2018V1.0

【建物概要】	建物名称	社会医療法人 弘道会 (仮称)門真介護医療院
	建設地	大阪府門真市新橋町
	用途/区分	病院

【評価結果】	CASBEE 総合評価		B-																
①	CO2削減		4																
②	みどり・ヒート アイランド対策		2																
③	建物の断熱性		5																
④	エネルギー削減		5																
⑤	自然エネルギー直接利用		—																
	再生可能エネルギー 利用施設の導入状況	<table border="1"> <tr> <td>太陽光発電</td> <td>—</td> <td>風力</td> <td>—</td> <td>地熱</td> <td>—</td> <td></td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>太陽熱利用</td> <td>—</td> <td>水力</td> <td>—</td> <td>バイオマス</td> <td>—</td> <td></td> <td>—</td> </tr> </table>	太陽光発電	—	風力	—	地熱	—		—	太陽熱利用	—	水力	—	バイオマス	—		—	
太陽光発電	—	風力	—	地熱	—		—												
太陽熱利用	—	水力	—	バイオマス	—		—												

	エネルギー消費量の報告	報告しない
--	-------------	-------

【評価項目】			
項目	評価内容	スコア	評価
① CO2削減	CASBEE「LR3-1」のスコアによる評価	4.0	4
② みどり・ヒートアイランド対策			
生物環境の保全と創出	CASBEE「Q3-1」のスコアによる評価	1.0	2
敷地内温熱環境の向上	CASBEE「Q3-3. 2」のスコアによる評価	2.0	
温熱環境悪化の改善	CASBEE「LR3-2. 2」のスコアによる評価	2.0	
③ 建物外皮の熱負荷抑制	CASBEE「LR1-1」のスコアによる評価	5.0	5
④ 設備システムの高効率化	CASBEE「LR1-3」のスコアによる評価	5.0	5
⑤ 自然エネルギー利用	CASBEE「LR1-2」のスコアによる評価	3.0	—
エネルギー消費の実態把握に努める	エネルギー消費量の実績を3年間報告する。	報告する 報告しない	報告しない

【その他】		
	技術の名称	考慮事項
先進的技術の導入		
特に配慮した事項	特になし	